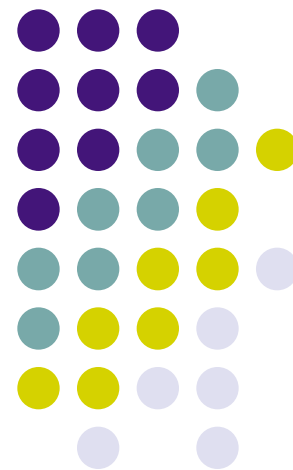


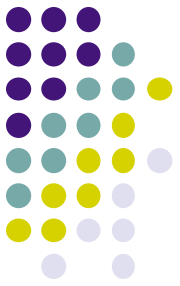
2014年10月29日国際シンポジウム「転換期におけるエイジング:オランダの経験に学ぶ:

地域包括ケアシステム構築に向けた 日蘭のチャレンジ: Buurtzorgから学ぶこと

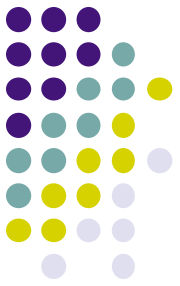
労働政策研究・研修機構研究員/Buurtzorg Innovator
堀田聡子 (hotta@jil.go.jp)



構成



- 地域包括ケアをめぐる世界的な潮流
- 転換期にあるオランダのケア・サポートをめぐる制度
- オランダにおけるケア提供体制の変遷
- 慢性疾患ケアモデルとケアの担い手
- Buurtzorgからのさまざまな示唆
- おわりに

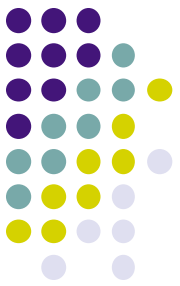


ケアをとりまくいくつかの変化

- 人口構成の変化（高齢化、少子化）
- 疾患構造の変化（複数疾病、継続発症：ケアサイクル）
- 健康概念の変化
- 支援観の変化（医療モデルから社会モデルへ、ICF）
- サービスの断片化・連続性の欠如
- 無駄な費用の肥大化

生活の質（個人・家族・地域の物語）

地域包括ケア:2つのコンセプト



地域を基盤とするケア (community-based care)

公衆衛生アプローチに立脚し、地域の健康上のニーズ、健康に関する信念や社会的価値観にあわせ、地域社会による参画を保証しながら構築されるケア [Plochg and Klazinga (2002)]

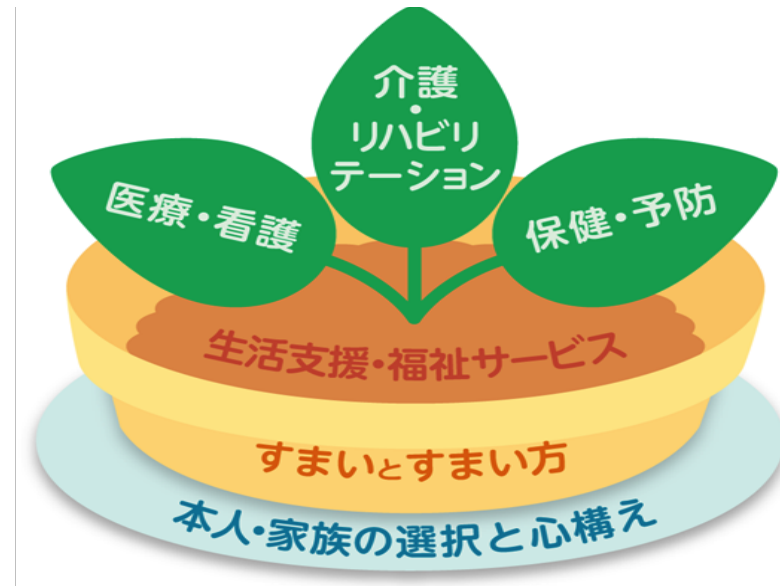


統合ケア (integrated care)

診断・治療・ケア・リハビリテーション・健康増進に関連するサービスの投入・分配・管理と組織をまとめる概念 [Gröne and Garcia-Barbero (2001)]

地域における最適を地域が自ら選ぶことが重要

オランダの医療・介護・生活支援・予防をめぐる制度枠組み(現行)



健康保険法 (ZVW)
治療可能な疾患に関する短期の医療 (cure)

特別医療費補償法 (AWBZ)
1年以上の長期療養・介護 (care)

強制加入の医療保険

＜医療保険の3層構造＞

第1層: AWBZ

第2層: ZVW

第3層: VHI (補完的保険・任意)

社会支援法 (Wmo)
社会参画・生活支援 (social support)

公衆衛生法 (Wpg)
予防・保健 (public health)

地方自治体が主体
公費+自己負担

オランダのAWBZ改革の方向性



Overview of the system in 2011

Central long-term care system (AWBZ)

Care purchased by regional agencies (zorgkantoren)
Assessment of patients' needs by the Care Assessment Center (CIZ)
Patients may opt for cash benefits worth 75 % of in-kind care

Local system (WMO)

Municipalities in charge of assessment, care purchase and cash benefits

Institutional care

Home care

Rehabilitation care
(e.g. recovery after a stroke)

Other institutional care

Personal and nursing care
(e.g. help for having a wash, administration of medical treatment)

Assistance nursing care
(e.g. help with household organisation and administrative tasks)

Care for young people with a light mental handicap

Home help with domestic activities
(e.g. house cleaning, cooking)

Decentralised in 2007

Envisaged reforms

Transferred to the health care system by 2013

Care purchased by individual health insurers by 2013
Cash benefits restricted to institutional care

Decentralised to municipalities by 2013
(assessment, care purchase and cash benefits)

No change

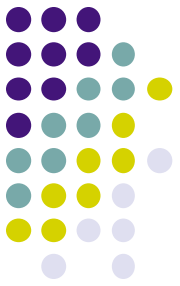
オランダにおけるケア提供体制の変遷



- 伝統的に: 宗教的基盤を背景とする救貧・ケア
- 近代以降: 互助的基金による疾病・失業等の健康・社会上のリスクのカバー、実際のケアの担い手は宗教・宗派別民間非営利組織
- 19世紀末～1940年頃: 現代福祉国家の萌芽
- 第二次大戦後～1970年代: 福祉国家の拡大
 - 分権性(補完性原理)・受動性
 - 1960年代: 短期医療保障・長期ケア保障枠組みの整備、脱病院化(ナーシングホーム急増)
- 1970年代後半～: 脱施設化、プライマリ・ケアとセカンダリ・ケアの機能分業、地域医療・予防重視、プライマリ・ケア一体性向上・強化 **水平統合**
 - 社会政策上の要請(自己責任、互助促進)
+ 当事者による「自立」「選択の自由」の要求に基づく流れ
 - 「代替」: ナーシングホーム→ケアホーム→高齢者住宅や地域へのサービス提供、治療→予防、二次医療専門医→家庭医、医師→看護師→介護士、専門職→インフォーマルケア、保険市場→一般市場...
 - 「個別仕立てのケア」
 - プライマリ・ケアの中核領域: 家庭医・地域看護・ホームケア・ソーシャルワーク (1983年プライマリ・ケア白書)

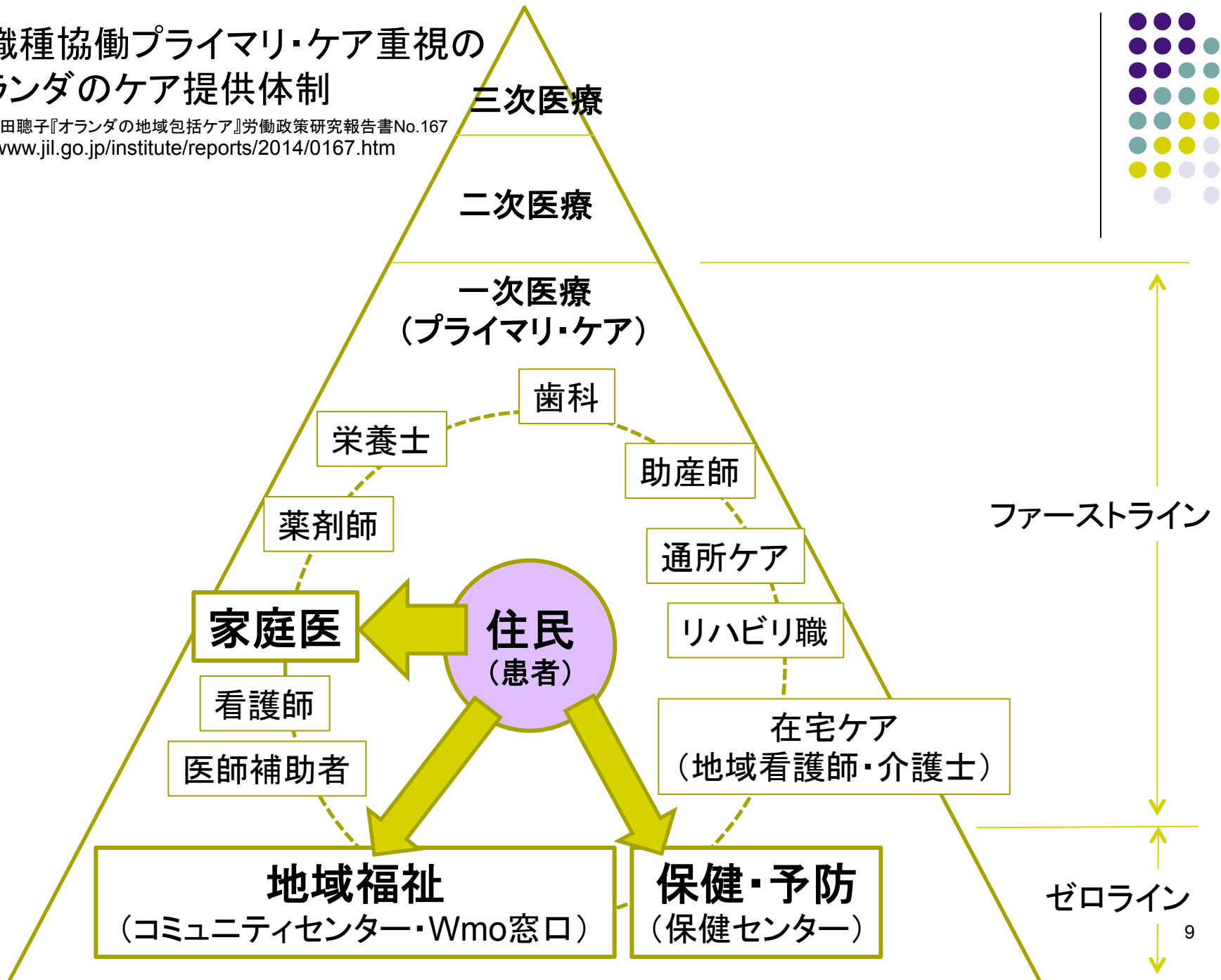


- 80年代後半： 垂直統合
中間ケア-オランダ版Chain of care
(Ketenzorg)の萌芽、住まい機能が向上した
独立住宅と多様で柔軟なケア・サポートの組み合わせ
- 90年代後半～：
脳卒中や糖尿病のケア提供者の地域
ネットワークにおける疾患管理プログラムの実践・評価
、ケア基準の整備
- 2000年代：
政府による慢性疾患の疾患管理プログラム推進、成果
に基づく包括払いへ(ケアグループ)
- 統合ケアの新たなテーマとしての認知症

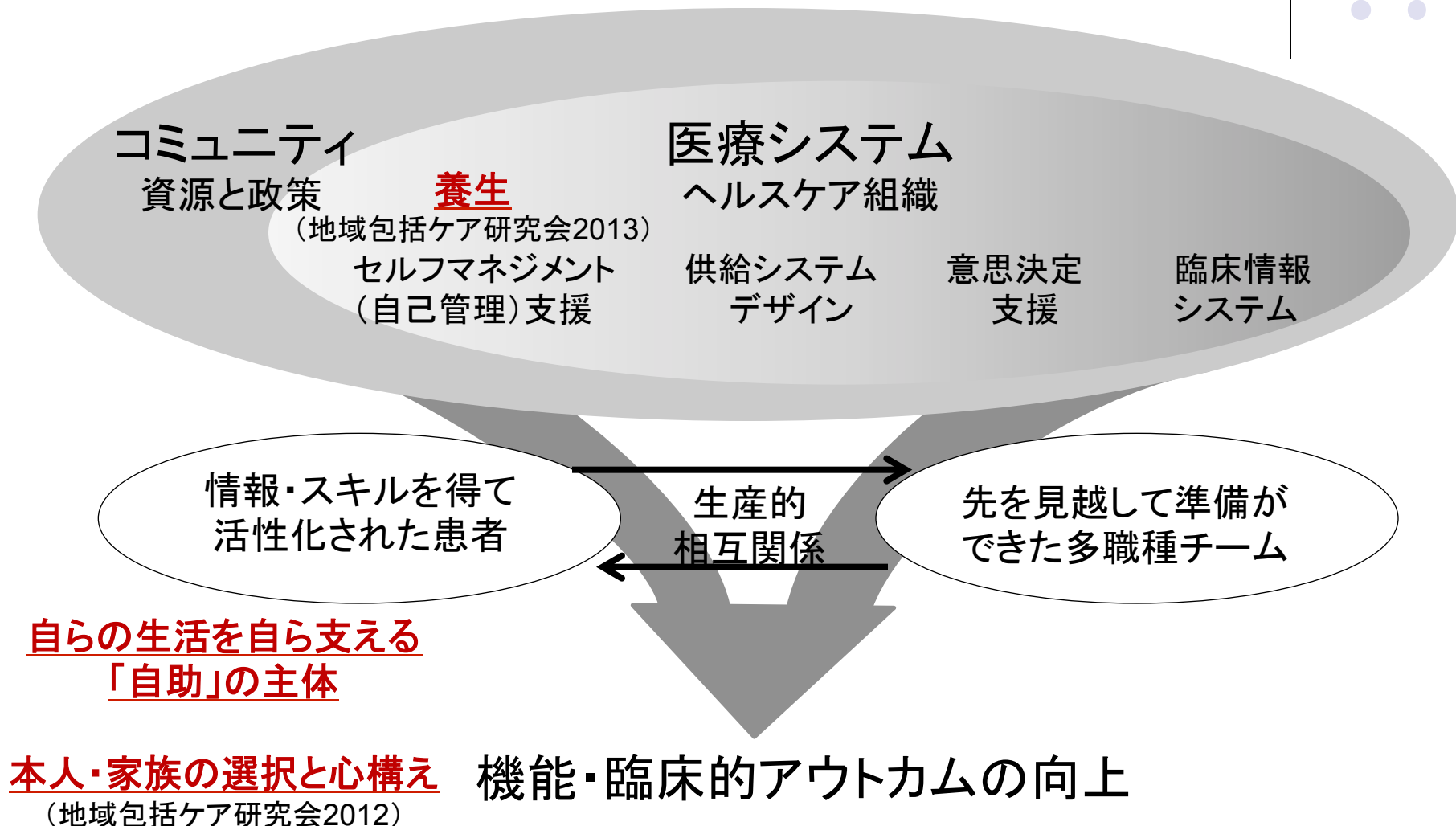
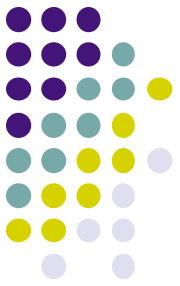


多職種協働プライマリ・ケア重視の オランダのケア提供体制

出所: 堀田聡子『オランダの地域包括ケア』労働政策研究報告書No.167
<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2014/0167.htm>



Wagnerらの慢性疾患ケアモデル(CCM)



慢性疾患ケアのためのコアコンピタンス



1. 患者中心ケア

- 効果的なコミュニケーション
- 健康行動変容のサポート
- セルフマネジメント支援
- プロアクティブアプローチ

2. 協働

- 患者と
- 他の提供者と
- コミュニティと

3. 質向上

- プロセス・成果の測定
- 学習→変化
- エビデンスを実践に反映

4. ICT

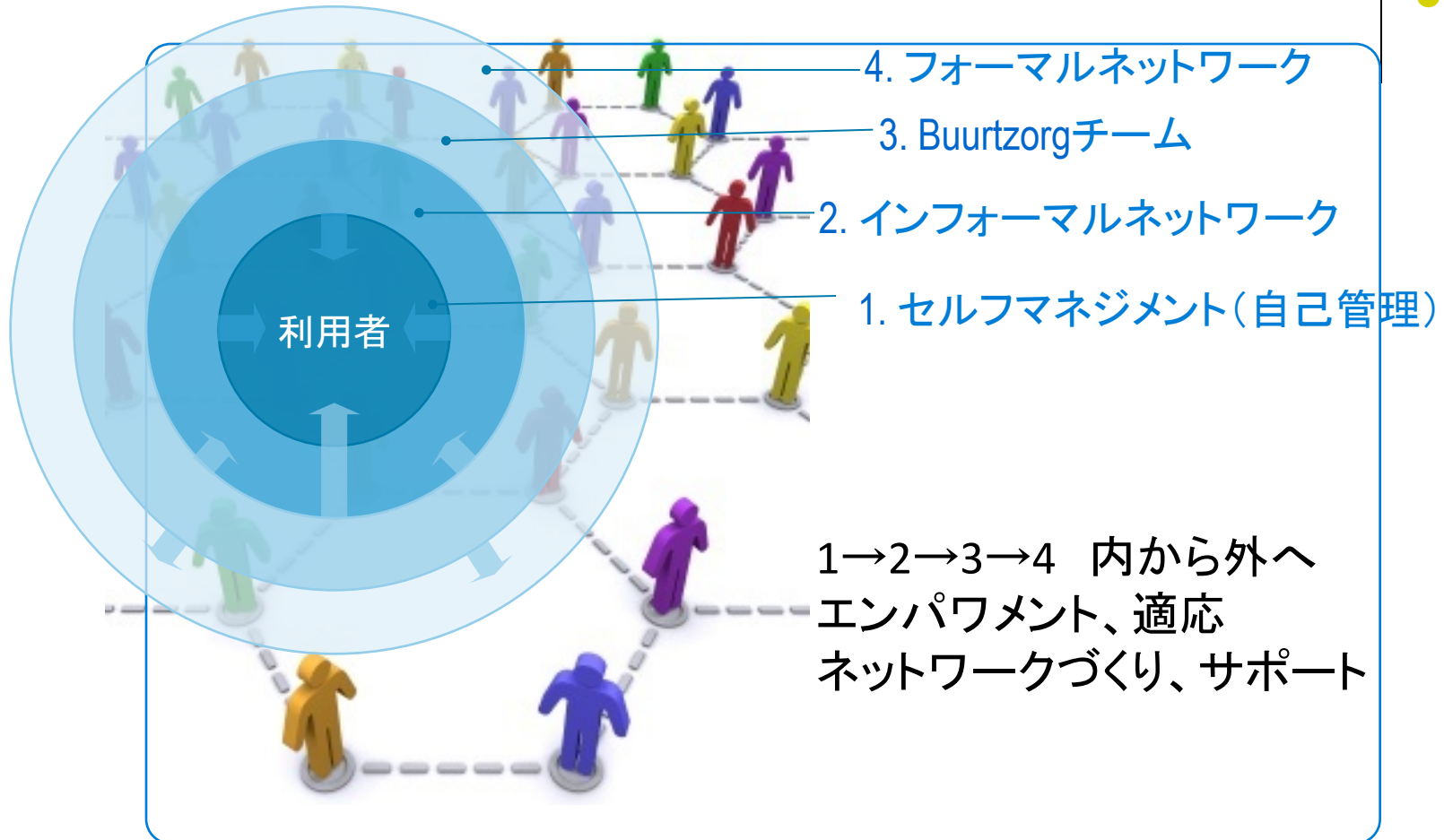
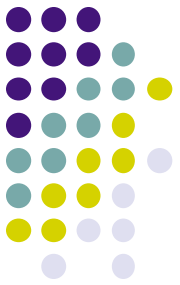
- 患者の登録
- パートナーとのコミュニケーション
- コンピュータ技術の活用

5. 公衆衛生視点

- Population-based care
- 予防重視とケアの連続を横断する働き
- プライマリケア主導のシステム

出所: WHO (2005)、Nolte and McKee (2008)

Buurtzorgの玉ねぎモデル



イノベーション ! BuurtKliniekへ



Doe mee met
wandclub

De Weg Kwijt



Trainen voor grote rollatorloop op 19

Elke woensdag om 14.00 uur verzamelen in de hal v

お散歩クラブ

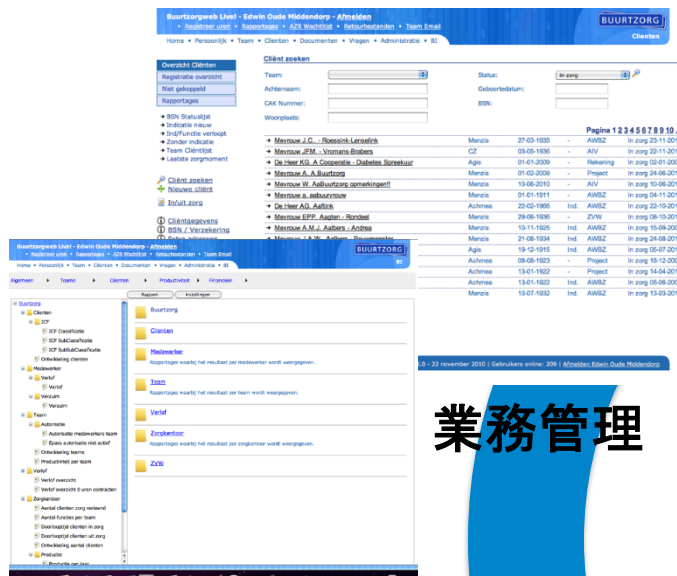


歩行器レース



ラジオ番組

アカウンタビリティとナレッジマネジメント



コミュニティ

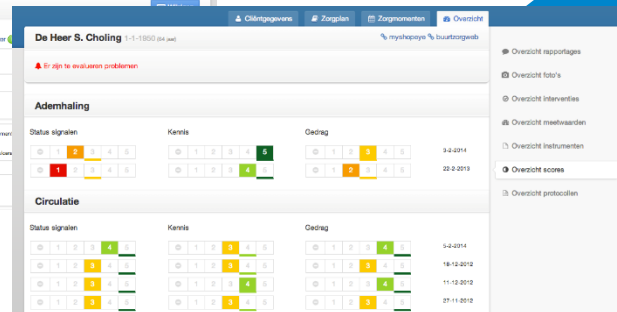
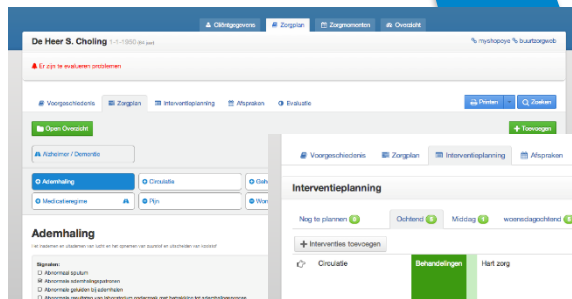
業務管理

Buurtzorgweb

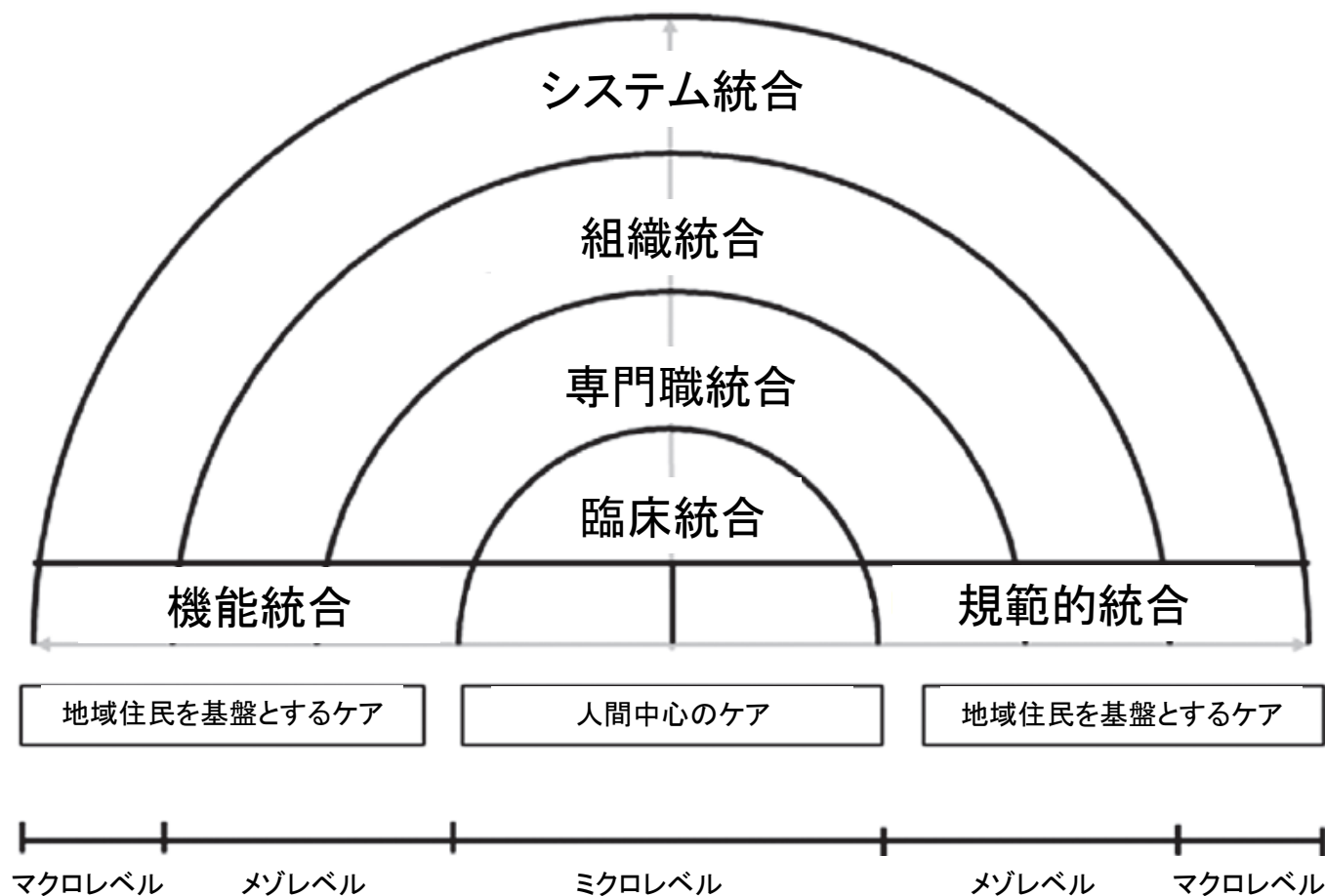
オマハシステムに基づく
ケアの見える化



チームの生産性
(チームコンパス)



プライマリ・ケアの統合的機能 に基づく統合ケアの概念枠組み



日本版ビュートゾルフモデルの実証開発に向けて



一般財団法人 オレンジクロス

ソーシャル・コミュニティ・ナーシング研究会
～地域看護機能の発展～

家庭医療研究会
～地域のかかりつけ医と在宅医療機能の発展～

統合ケアマネジメントに向けた事例検討会（下記2団体との共催）
～統合的なケアの提供に向けたアセスメント・マネジメントの検討～
国立社会保障・人口問題研究所、地域包括ケアイノベーションフォーラム

地域包括ケアステーション 実証開発プロジェクト
～新たな多職種協働・地域包括ケアステーションの実証的研究～

全国各地の多様な
主体による実証的
ステーション

実証開発のための
地域包括ケアステーション
ーオレンジクロス直営STー

医療機関
一家庭医機能を目指す
在宅療養支援診療所ー

密な連携

地域の各種サービス

訪問リハビリ

訪問看護

訪問介護

定期巡回

複合型

など

移行期のムーブメント!

地域包括ケアイノベーションフォーラム

